

市民
参加型

野生動物への無自覚な餌付け ストップキャンペーン

果実や野菜の残渣・生ゴミがカラスの餌に



追い払うのは対症療法で根本解決にならない



商品にしない果実も摘果する



餌になりそうな果実や
野菜は土に埋めて
カラスに発見させない

冬に餌資源を減らす事が
カラスの個体数削減に繋がる



ゴミにネット
をかぶせる

2020年2月1日～7日に飯田市・近隣市町村で実施

野生動物にとっての餌資源を、餌の乏しい冬場に徹底的に管理し、効率的に野生動物の個体数をコントロールすることが「野生動物への無自覚な餌付けストップキャンペーン」の目的です。本キャンペーンには、畑の農作物の残渣をきちんと処分する（少なくとも土に埋める）、庭にできた果実を摘果する、生ごみを徹底的に管理するといった、市民の皆様のご協力が必要です。このような作業を日常的に行うのは大変ですが、餌の乏しい冬場に一齐に行えば、一週間だけでも効果があると考えられます。この取り組みが、人間と野生動物の共生の一助になります。ぜひ、市民の皆様のご参加をお願いします。

飯田市鳥獣被害対策協議会
担当：事務局（飯田市農業課） 矢澤
電話：0265-21-3217